

2024年5月17日

日本ローイング協会 アンチ・ドーピング委員会

2024年 第102回全日本ローイング選手権大会

ドーピング防止教育アスリート向け eラーニングシステム受講と修了証の提出について

標記大会の出漕にあたり、ドーピング防止教育のアスリート向け eラーニングシステムの修了証の提出を義務付けます。これは、選手のドーピングに対する基本的知識の習得方策として、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）の eラーニングシステム「アスリートコース（2024年度版）」を利用して、ドーピングに関する自己学習をすることを目的としているものです。第102回全日本ローイング選手権大会については、以下の要領で実施いたします。

- 対象大会名： 第102回全日本ローイング選手権大会（2024年6月20～23日 4日間）
- 履修システム：
以下を4月1日以降に受講し「修了証」を発行すること
JADA（日本アンチ・ドーピング機構）HP内にある、eラーニング「FAIR PRIDE」
URL：<https://www.playtruejapan.org/jada/e-learning.html> 「アスリートコース（2024年度版）」
※受講に必要なパスコードは、JARA 競漕エントリーシステム内のお知らせ欄に記載
eラーニングのユーザーガイドは別途掲載のものを参照のこと
- 修了証提出方法：
システム内のプログラムを全て受講修了すると修了証を発行することが可能となる；
① 2024年6月2日（日）までに修了証を、代表者がまとめて提出のこと
② 以下のいずれかの手段にて提出のこと
 - ✓ FAX 03-5843-0462 まで。表紙に団体名と提出者名記入のこと
 - ✓ E-mail ikagaku@jara.or.jp まで。団体名と提出者名をメール本文に記入のこと
 - ✓ 郵送 日本ローイング協会事務局 アンチ・ドーピング委員会宛 団体名と提出者名を封筒に記載のこと
(6月2日必着)
- その他：
受講は年度毎に1回でよいが、修了証の提出が必要な大会に備え、各自保管すること
本年度（2024年度）の他 JARA 大会のエントリーの際に修了証提出済みの選手は、再提出の必要はありません

背景：日本ローイング協会ではこれまでアンチ・ドーピング規定に則り、JADA との協力体制のもとに競技会内ドーピング検査を実施してきました。アンチ・ドーピング規定は国内および国際競漕規則に明記され、クリーンで公正なスポーツ活動に必須のルールです。2019年5月の全日本選手権での競技会内検査の結果、ローイング競技の選手にアンチ・ドーピング規則違反の決定裁定が下されました。規則違反が生じる背景として、選手はもとより監督・コーチのドーピングに対する基本的な知識の習得・確認の機会が少ないことが挙げられます。日本ローイング協会は今回の規則違反事例を重く受け止め、選手がアンチ・ドーピング規定を順守するように上記大会に出場する際には eラーニングシステム受講することを必須としました。また、JADA は、ドーピング防止教育・啓発活動を重視しており、すべてのアスリートとその関係者へのドーピング教育に関する具体的な実施を各競技団体に求めてきております。